

(東米良地域づくり協議会スローガン)
(^^♪ 老いも若きも健康作りで元気づくり
(^^♪ みんなで参加の地域づくり活動

お知らせ & セミナー案内

5月21日(日) 宮崎東米良会総会
西都第三小畑

6月7日(水) 龍房学級銀上学園ふれあい教室
西都銀上学園

東米良地域づくり協議会代議員総会

4月22日(土)東米良地区館において、平成29年度東米良地域づくり協議会代議員総会が開催されました。総会では、28年度事業実績報告、事業決算報告並びに監査報告、29年度事業計画、収支予算、役員改選について審議されすべて承認されました。

新役員	会 長	濱砂 功一	副 会 長	坂本 光志
	副 会 長	浜砂 勝利	事務局長	濱砂 隆文



筍掘り体験イベント

4月30日(日)尾八重の竹林にて、筍掘り体験イベントが行われました。参加者は、西都市内外より約60名を数え大変にぎやかに行われました。収穫体験後は、地元の方が造った「筍ご飯」「筍のみそ汁」「筍の木の芽和え」を堪能し、お土産には茹でた筍の持ち帰りもありました。皆さんご苦労様でした。



※ 情報提供をお願いします。
各任意団体がイベントを計画されましたら、ご連絡下さい。
外部からの、問い合わせに対しお答えできませんので、よろしくお願いします。



東米良の筍

東米良通信

	人口	男性	女性	世帯数
第59区	184名	91名	93名	103戸
第60区	43名	20名	23名	31戸
第61区	62名	33名	29名	47戸
合計	289名	144名	145名	181戸

発行: 東米良地域づくり協議会
会 長: 濱砂 功一
事務局: 濱砂 隆文
〒881-1121 ☎0983-49-3031
住所: 西都市大字尾八重9番地
メール: higasimeras@saito-city.jp

平成29年度第1号
2017年4月1日現在

西都原茅葺き住居完成

3月11日(土)西都原考古博物館西側にある古代復元住居は、建てられて50年近く経ち、平成27年度より、檜の切り出し・皮むき、茅の切り出しなど、銀鏡・上揚地区の匠と共に茅葺き屋根葺き替えを行ってき、落成を迎えた。時代と共に失われつつある地域の方々の貴重な知恵や技術を記録しボランティアと共に完成した。



匠の会	浜砂 衛さん	浜砂 重忠さん
	浜砂 義利さん	浜砂 重文さん
中央右	ボランティア	金丸 昭弘さん

せんぐ撒きの様子

緊急出動

4月13日(木)尾八重眺峰館付近牧場跡地辺りから出火した山火事は、約30ヘクタールを焼き尽くし午後6時ごろ鎮火しました。消火活動は、西都消防本部の指揮のもと、地元消防団1部～4部まで出動、ジェットシューターを背負い民家まであと10メートルほど迫る炎を消火して行きました。県の防災ヘリと鹿児島県の防災ヘリの出動！消防本部・消防団員の決死の消火活動となりました。



木城町方面に火が移動していく
必死の消火活動



一面の焼け野原
ジェットシューターでの消火もむなく
呆然と立ち尽くす消防団員たち

滝 行

4月29日(土)2月に開催される予定であった「滝開き」が悪天候の為、中止になり今回の滝行で行われました。7名の一般参加者(小学生2名)がまだ水温低い滝つぼへと身を委ねました。行が終わった後は、清々しい気持ちになります。一度体験してみるといいですね。



中央 小学生2名必死に冷たさにたえる。



冷たさを忘れ無心になる。

鹿倉祭・御大師講

4月30日(日)横平富永武幸さん宅にて、鹿倉祭・御大師講が行われました。富永家に親戚をはじめ、地区の方々約30人が集まりました。御大師講では巨大な数珠を経を唱えながら21回みんなで一緒に回して直会になります。



夏も近づく八十八夜♪



若鮎の放流



銀上学園卒業式

3月16日(木)西都銀上学園体育館にて卒業式が行われました。本年度は、中学生5名と小学生1名が、それぞれ高校、中学へと希望をもって卒業されました。銀上学園(銀鏡)での思い出をいつまでも大切にしてくださいね。



平成29年度奥日向銀上山村留学生歓迎式

4月9日(日)銀鏡集会所にて銀上山村留学生歓迎式が行われました。本年度は、小学生8名、中学生9名の留学生が銀鏡での生活を始めます。里親さんをはじめ地区住民の全員が応援しています。

西都銀上学園入学式

4月12日(水)西都銀上学園入学式が行われました。桜が満開の中、小学生1名・中学生2名が入学されました。また、校長先生をはじめ、新任の先生2名も新しく学園での教鞭をとってもらうことになりました。入学された新入生の皆さん!銀上学園での勉強や、学園生活を満喫してください。



銀鏡春まつり

3月20日(月)毎年恒例の春まつりが伝承館横の弓場で行われました。銀鏡の春まつりは、春ご祈禱と称し、その年の大厄を、特にその年に厄を迎えた人は、厄払いとして祈願をするものである。当日は、早朝に集合し、区長をはじめ関係者、並びに厄年の者が集まり、座付きの儀が行われる。

右写真は「神の的神事」
両親健在の若者2名が選ばれ、競射の前に神の的と称し一手にぎりの(2本)を3回撃つ。そして、「どなたも座についてひと握りの神の的を射てあげてくだされ」と促す。一同、なるほどとうなずき、一手握りの神の的を捧げる。

神事が終わると「酒弓(さかゆみ)の事」余興の弓がはじまるのである。

